

第 21 回休眠預金等活用審議会ワーキンググループの議論の概要

1. 出資について

- 各地の民間公益活動を担う団体が、今回始まる出資事業について理解や関心を深めてもらえるように、ファンド出資型と法人出資型それぞれについて事業モデルを例示するなど、積極的な周知に努めてほしい。
- 情報公開については、出資先企業が委縮しないように、民間共同出資者との秘密保持義務だけでなく、出資先企業等の意向も踏まえた上で、開示する情報の範囲を明示してほしい。
- 社会課題解決に取り組む団体の成長段階に応じて、資金提供の多様化が必要。本制度においても、今後、貸付けの解禁を検討してほしい。

2. 休眠預金制度全般について

- 資金分配団体が所在しない地域や少ない地域において、資金分配団体の候補となり得るような団体等に対して好事例を紹介・共有するなど、積極的な制度のPR活動を進めてもらいたい。